

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	R6年12月12日
クラス名(年齢)	すみれ 組( 3 歳児)
年間テーマ	音

## 1、活動テーマ

<テーマ>

身近な物の音に興味を持つ

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

・身近にある物を叩くと「どんな音がするのか」探したり聞いたりすることでより音に興味を持って欲しいと考えた。

## 2、活動スケジュール

・ミニハンマーで身近な物(ペットボトル、缶など)を叩いたり、部屋や戸外にある遊具を叩いていろいろな音を探した。

## 3、環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)




・ミニハンマー(一人1本ずつ用意) ・ペットボトル ・牛乳パック ・卵パック  
 ・缶 ・ゼリーのカップ ・木琴の木片

## 4、探究活動の実践

<活動内容>

・初めはカップ、缶、牛乳パックなど保育者が用意したものを叩いた。  
 ・次に子どもたちに部屋や戸外にあるもので音が鳴りそうな物を問いかけ、いろいろな物を叩いて音を探した。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>・初めは、みんなでゼリーのカップをミニハンマーで叩いた。子どもたちは、カップの中や横、底などいろいろな所を叩いた。</p> <p>・次にペットボトル、缶、牛乳パックなどを叩いてみた。缶を叩くと「いい音がある」と叩いて音を比べていた。</p> <p>・部屋にある物で音が鳴りそうな物を問いかけると「リュック、椅子の脚」などが出てきた。リュックは「あまり鳴らないね」椅子の脚は「カーン、カーン」で大きい音がすると楽しく叩いていた。</p> <p>・木琴の木片は長いのと短いのを叩くと「音の大きさが違う」と何度も鳴らしたり、友達の木片と一緒に並べて音を鳴らして比べていた。</p> <p>・戸外でも音が鳴りそうな遊具を探して音を鳴らした。滑り台、ブランコの柵、衝立を叩き、衝立が「シンバルみたいな音がしたよ」と友達に知らせることで何度も楽しく鳴らしていた。</p>	  

## 5、振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

・カップを用意し自由に叩いてみると、カップの中、横、底など様々な面を楽しく叩いていた。また、部屋にある物、戸外にある物で音が鳴りそうな物を問いかけ、やってみることで子どもの気づき、発見を大切にしながら進めた。

・子どもたちに問いかけることで、様々な発想が出てきた。子どもたちがより探求するためには保育者が用意する物、準備がとても大切だと思った。